

# 進路だより ひらぎ

令和5年度 第4号  
令和5年9月29日  
東京都立しいの木特別支援学校  
校長 濱渦 孝治  
担当 進路指導部 鹿毛 成

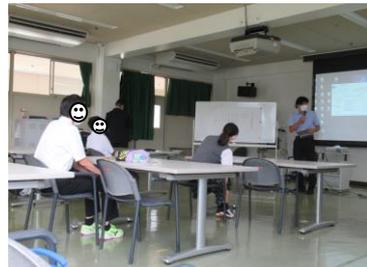
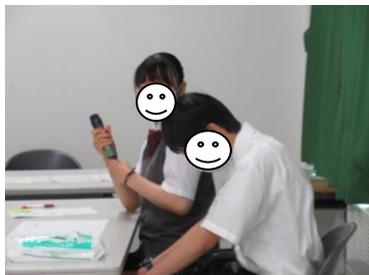
日頃より、保護者及び関係諸機関の皆様には、本校の進路指導についてご理解・ご協力をいただき、誠にありがとうございます。

9月4日（月）より第Ⅱ期現場実習が開始となりました。3年生は具体的な進路先を見据える時期となります。2年生についてもできる範囲での現場実習を行っていく予定です。引き続き生徒一人一人の進路の実現に向けて、全力で支援・指導してまいります。

## ～高等部実習報告会～

7月13日（木）に、第Ⅰ期現場実習報告会を行いました。住所や交通経路などの、実習先の紹介から始まり、実習の目標、仕事内容、頑張ったこと、反省点、学校生活で生かしたいことなどを一つのスライドにまとめ、発表しました。報告者は、スライドの内容や話し方を工夫して、実習の様子を詳しく伝えることができていました。聞き手は、報告内容を真剣に聞き、積極的に質問をするなど、活発な実習報告会になりました。

今回の実習を経て、良かった点や成功した点の他に、改善すべき点、注意を受けた点などの様々な課題も見えてきました。より成長できるように引き続きサポートをしながら、第Ⅱ期現場実習に臨みたいと思います。



## ＜ 夏季休業中の卒業生アフターケアについて ＞

夏季休業を利用し、進路指導部で卒業生の定着支援の一環として、過去3年間の卒業生を対象にアフターケアを行いました。進路先への電話での聞き取りの他に、今春に社会生活に移行した卒業生については、実際に進路先や支援機関を訪問し、情報交換をしてきました。

新しい環境の中で、頑張っている卒業生の姿を見て、こちらも元気をもらいました。

卒業後の生活にスムーズに移行していくために、職場で相談したり、就労支援・生活支援センターなどの相談機関をうまく利用したりしてほしいと思います。今後も、必要に応じて連絡を取り、迅速に諸々の課題に対応していきます。

